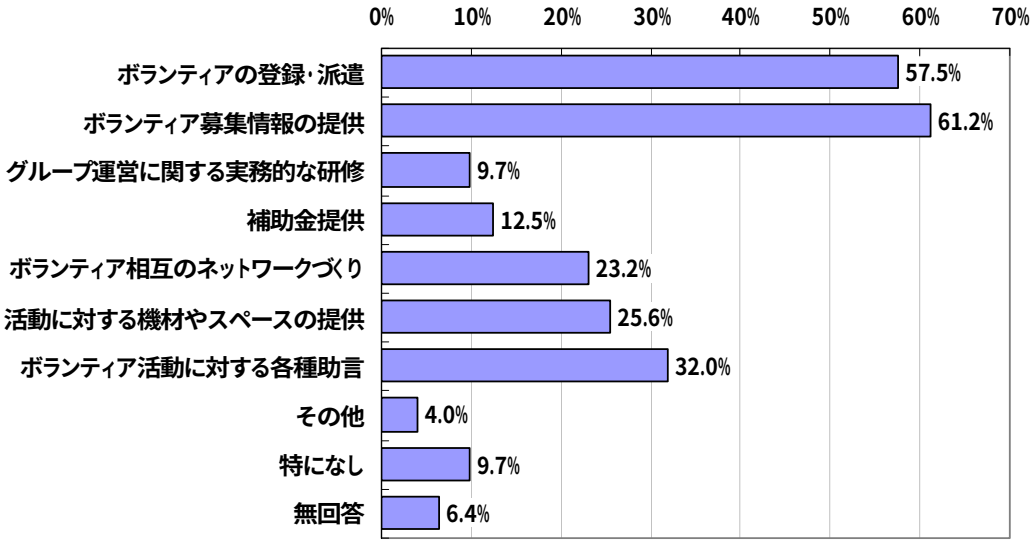
（3）ボランティア活動がより発展するための支援

① ボランティア活動の促進・発展のための支援

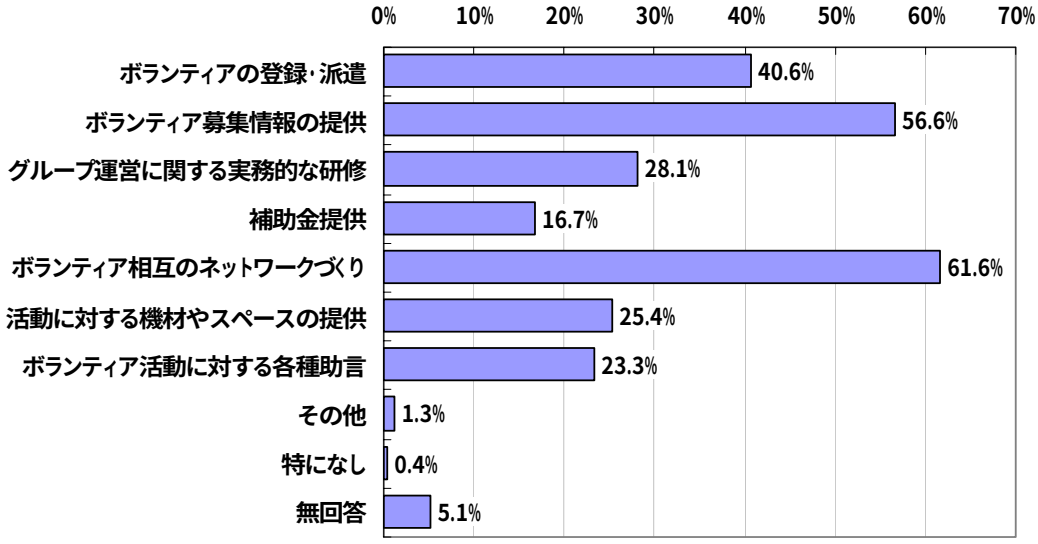
支援センターで実施しているボランティア活動の支援業務は、「ボランティア募集情報の提供」（61.2%）、「ボランティアの登録・派遣」（57.5%）の 2 つが特に多い。

また今後重要になる支援業務としては、上述の「情報提供」、「登録・派遣」のほかに、「ボランティア相互のネットワークづくり」（61.6%）を挙げているコーディネーターが多い。

図表 3-10　支援センターで実施している活動促進のための業務



図表 3-11　今後重要になる支援センターでの活動促進業務

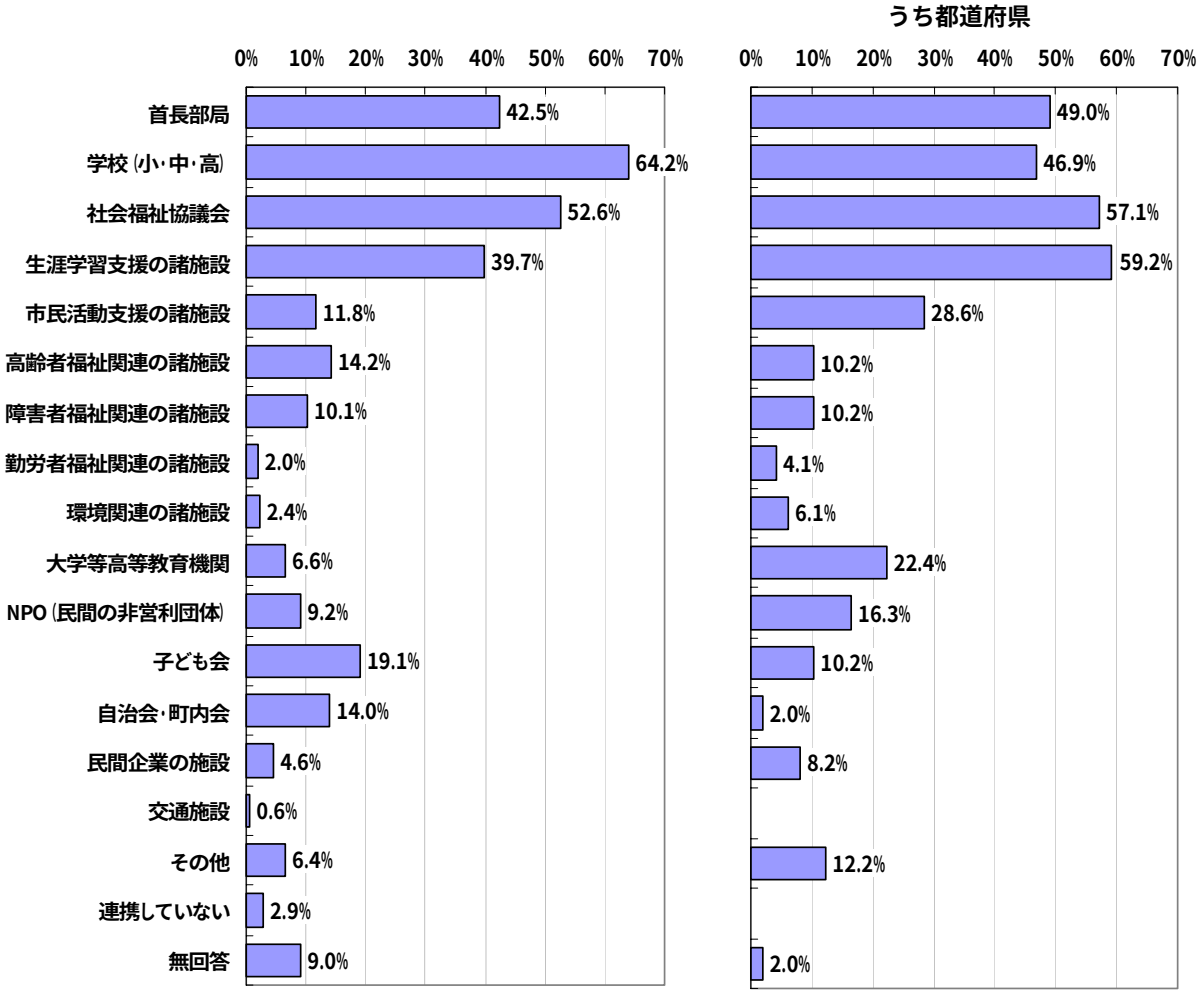


② 活動支援の際の連携・協力先

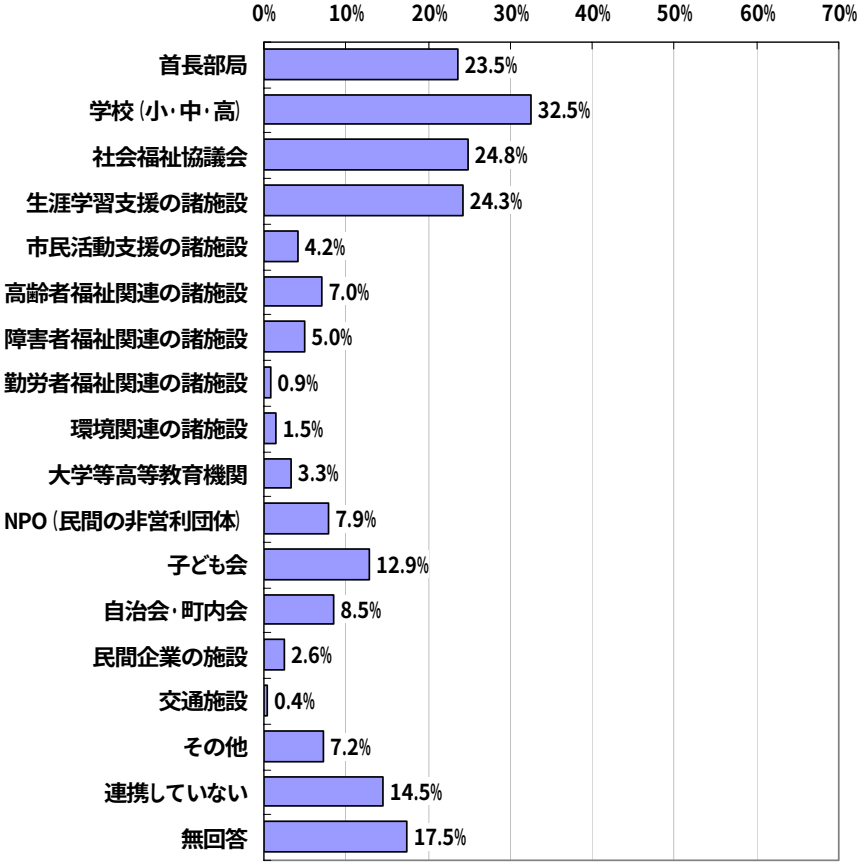
支援センターが行う活動支援の取り組みのうち、「情報交換」や「広報・PR」において他機関と連携を行う支援センターが多い。一方、「事業企画」、「施設・設備」、「事業の共催・後援」などの取り組みでは連携はそれほどなされていない。

連携・協力先では、全体的に学校（小・中・高）が最も多く、首長部局、社会福祉協議会、生涯学習支援の諸施設等がこれに続いている。都道府県の支援センターでは、取り組みによって大学等高等教育機関や NPO との連携も多く見られる。

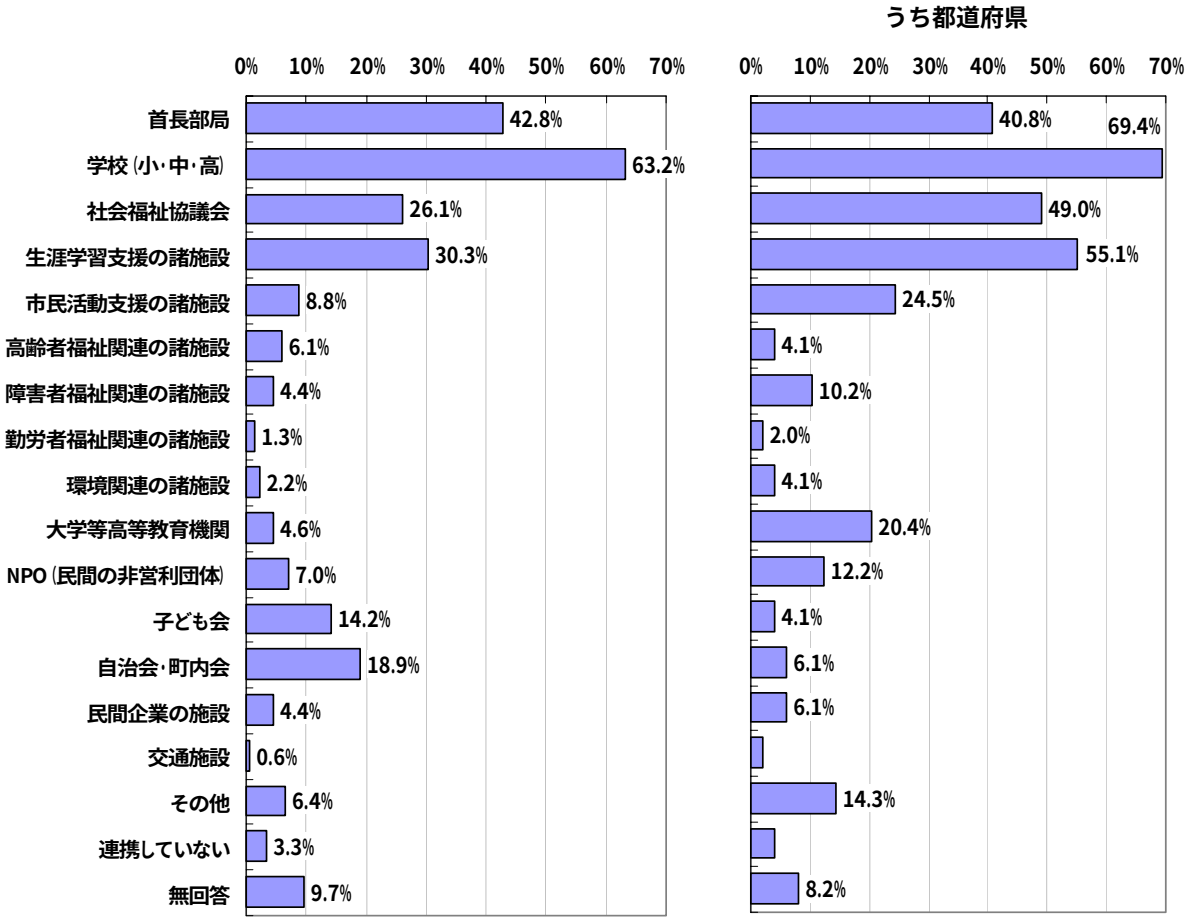
図表 3-12　活動支援の際の連携先：情報交換



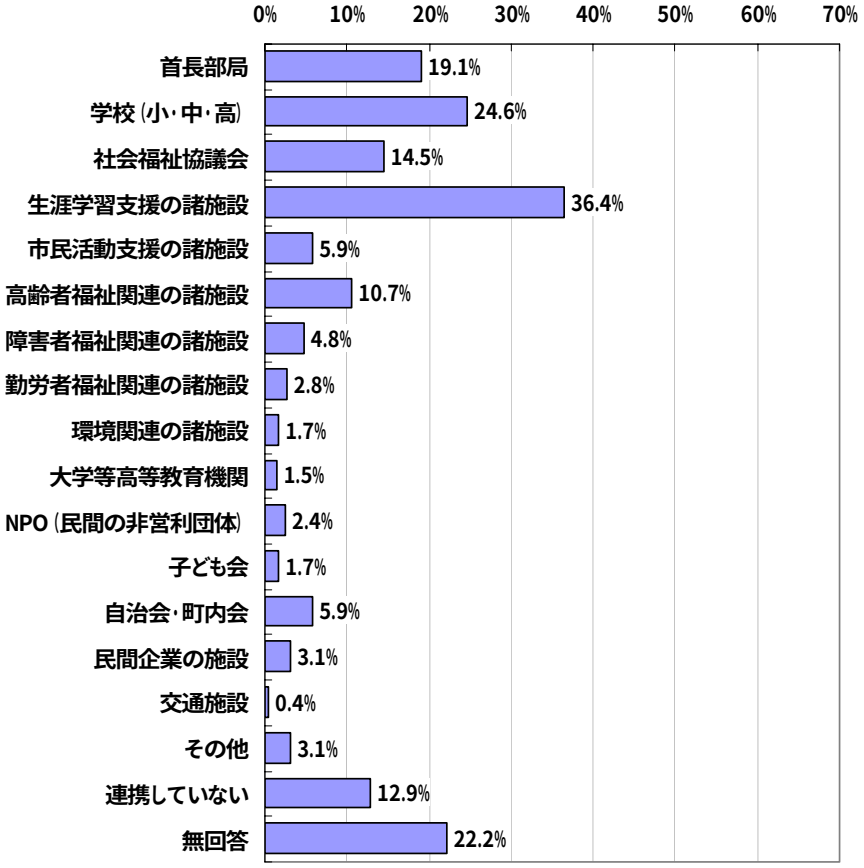
図表 ３-１３　活動支援の際の連携先：事業企画



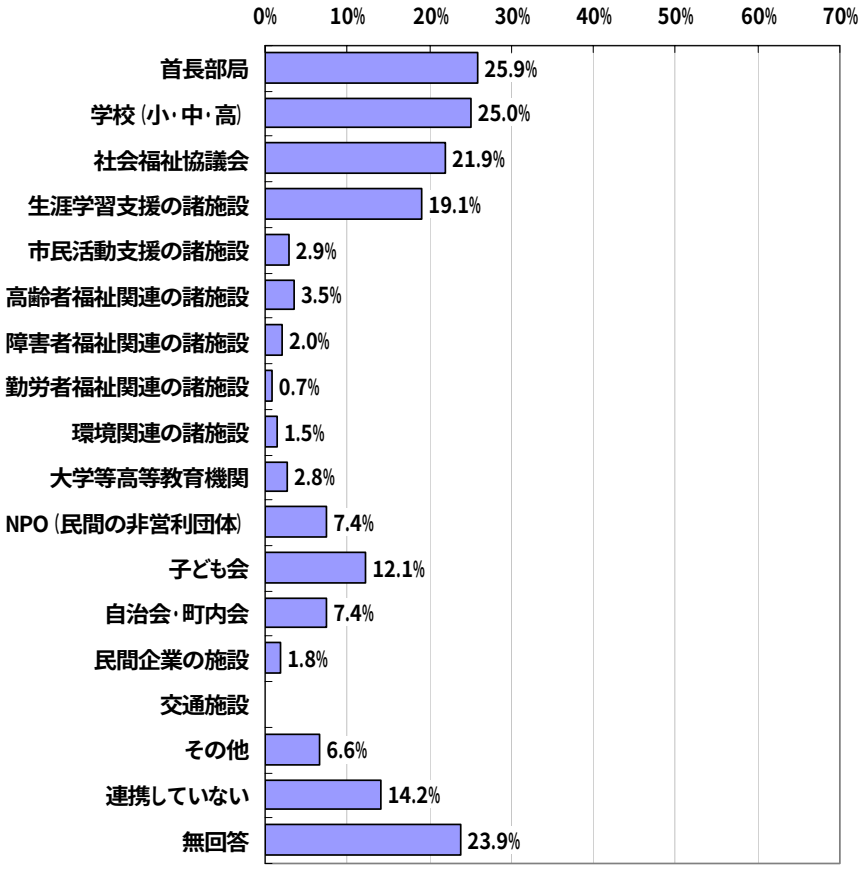
図表 3-14 活動支援の際の連携先：広報・PR



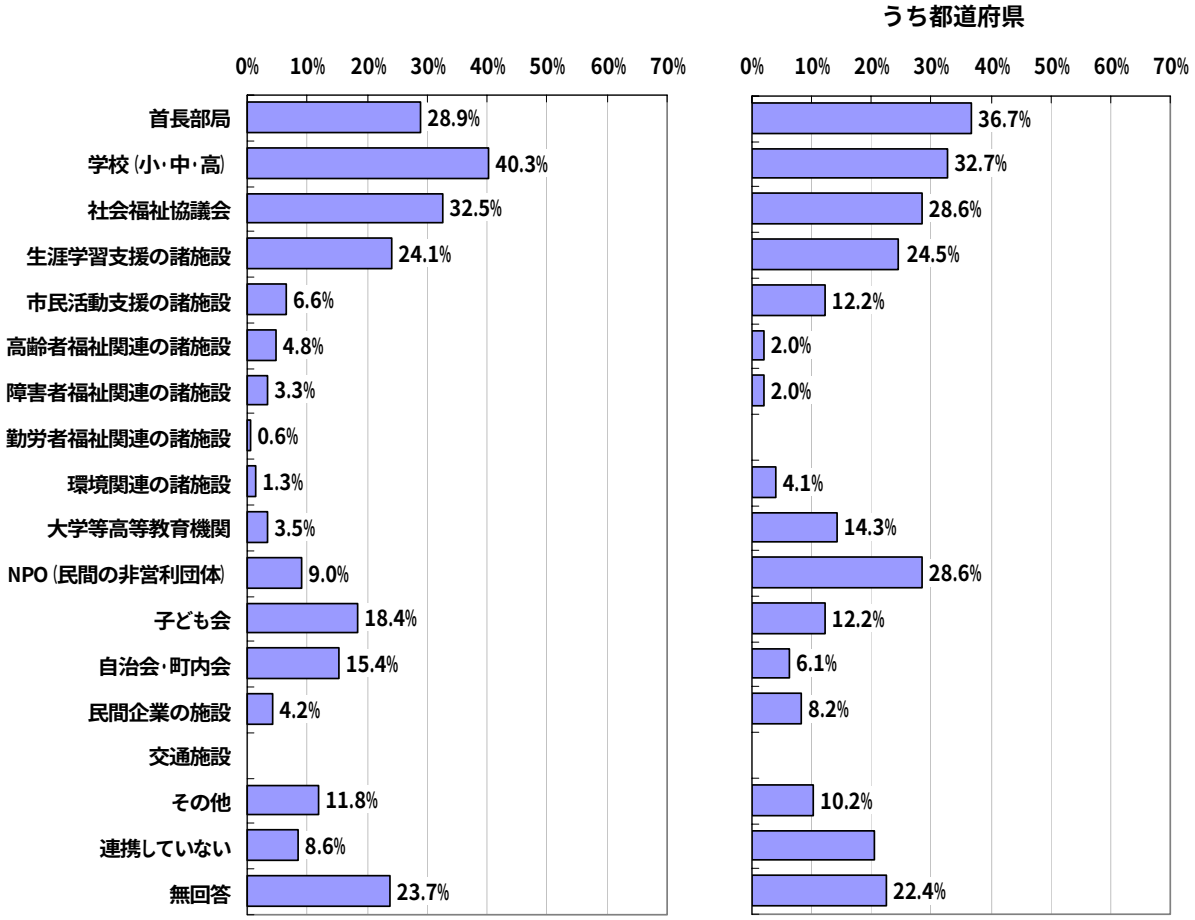
図表 3-１５　活動支援の際の連携先：施設・設備



図表 3-16 活動支援の際の連携先：事業の共催・後援



図表 3-17 活動支援の際の連携先：推進体制

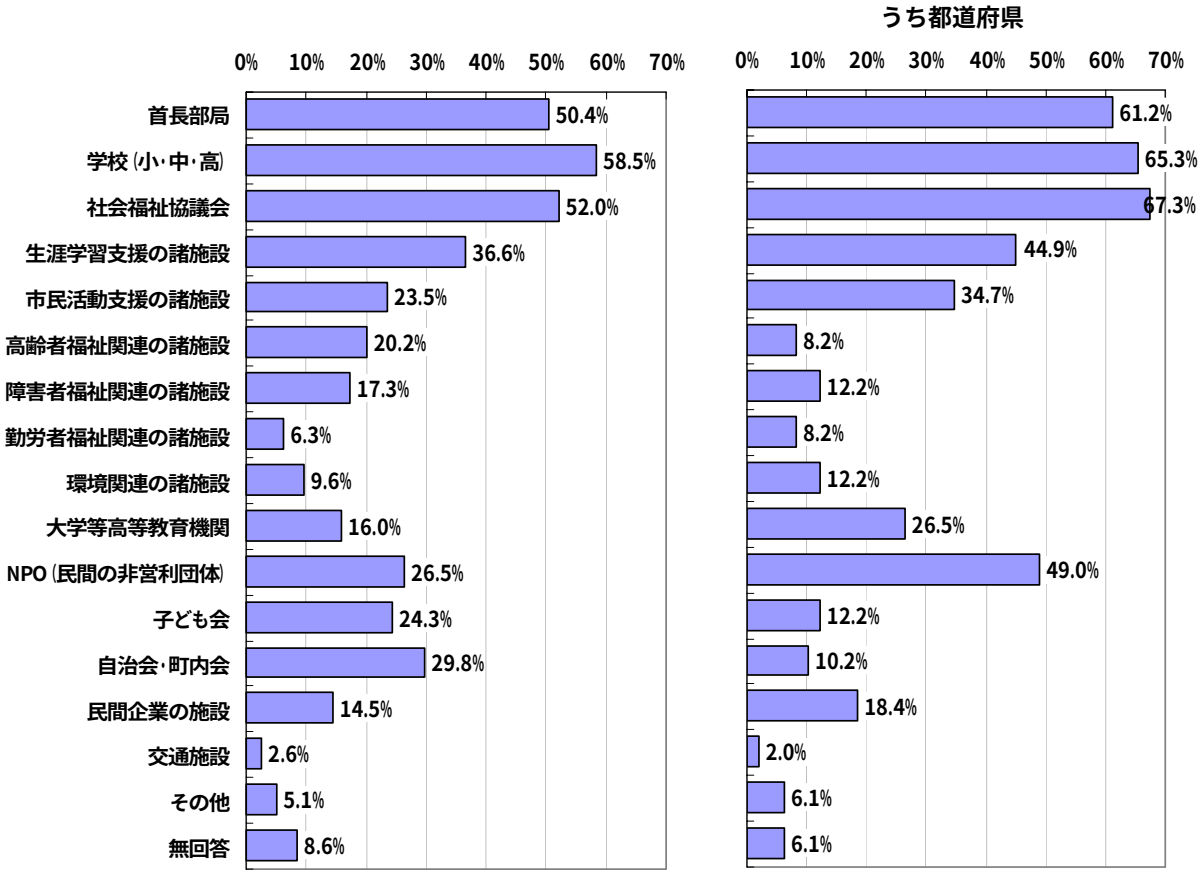


③ 今後希望する連携・協力先

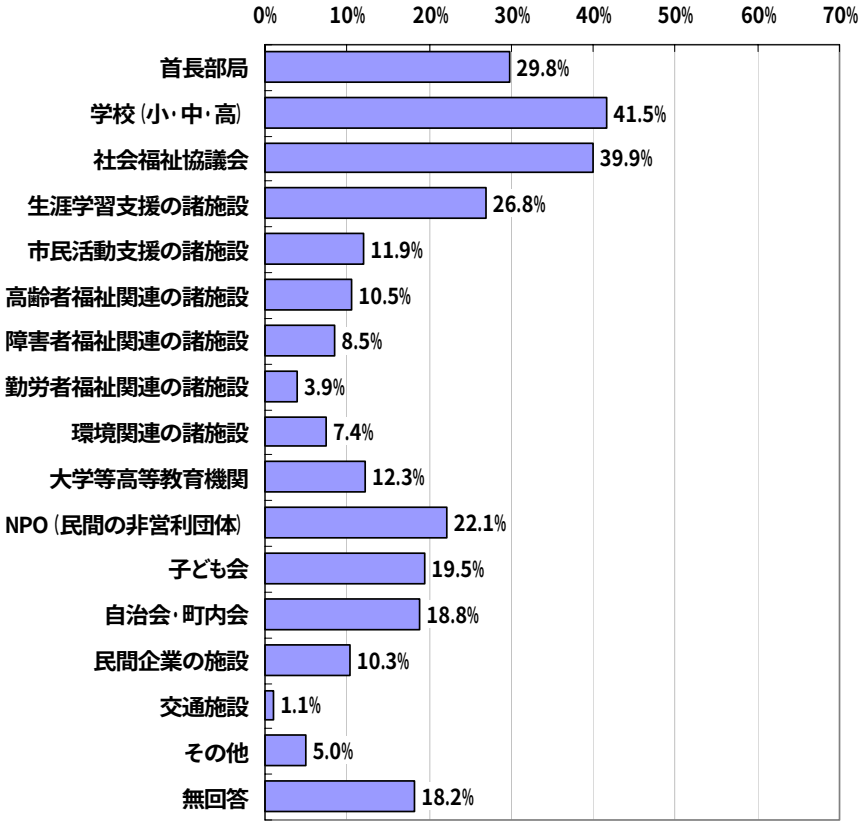
今後希望する連携・協力先を取り組み別に聞くと、「情報交換」において、今後他機関と連携を行いたいとするセンターが最も多い。

希望する連携先は、現状と同じく学校（小・中・高）、首長部局、社会福祉協議会、生涯学習支援の諸施設等が多く挙げられている。また、都道府県の支援センターでは NPO との連携を希望する割合が高くなっている。

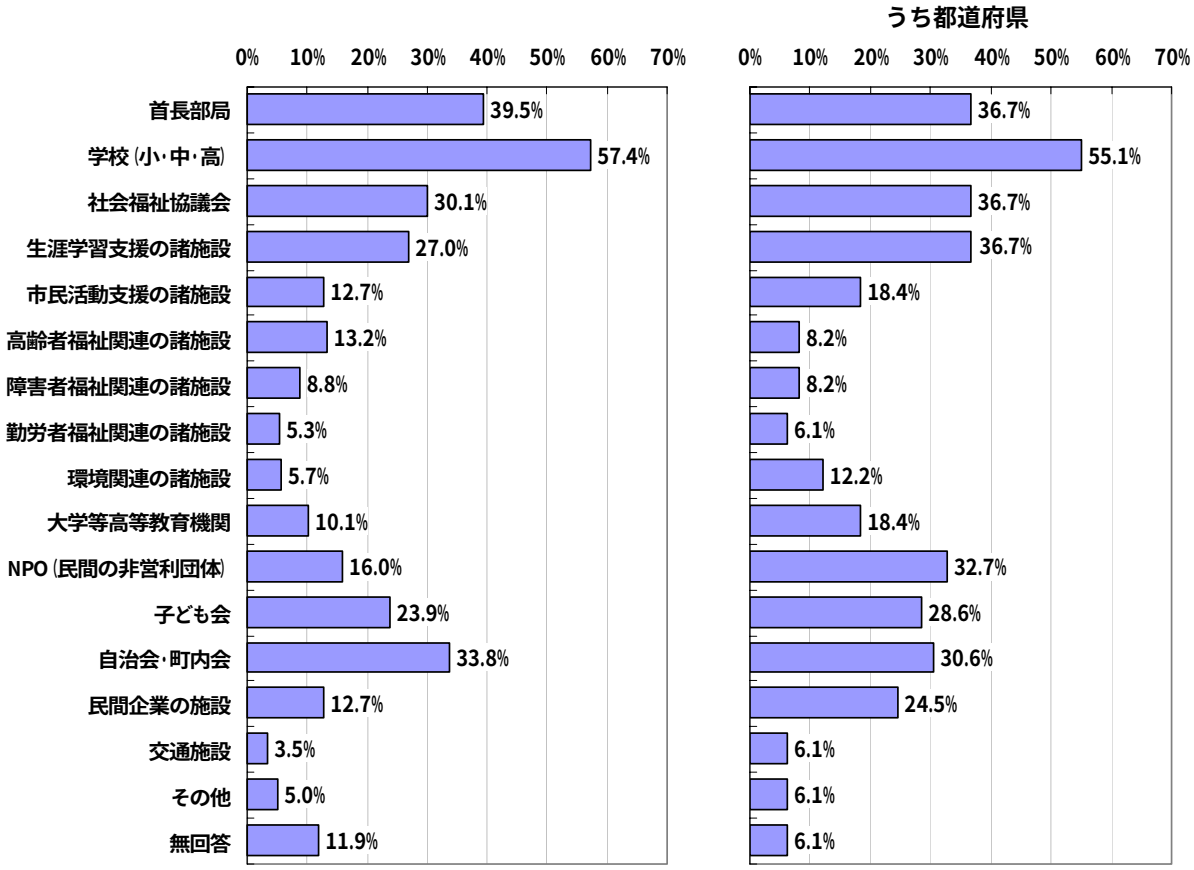
図表 3-１８　今後希望する連携先：情報交換



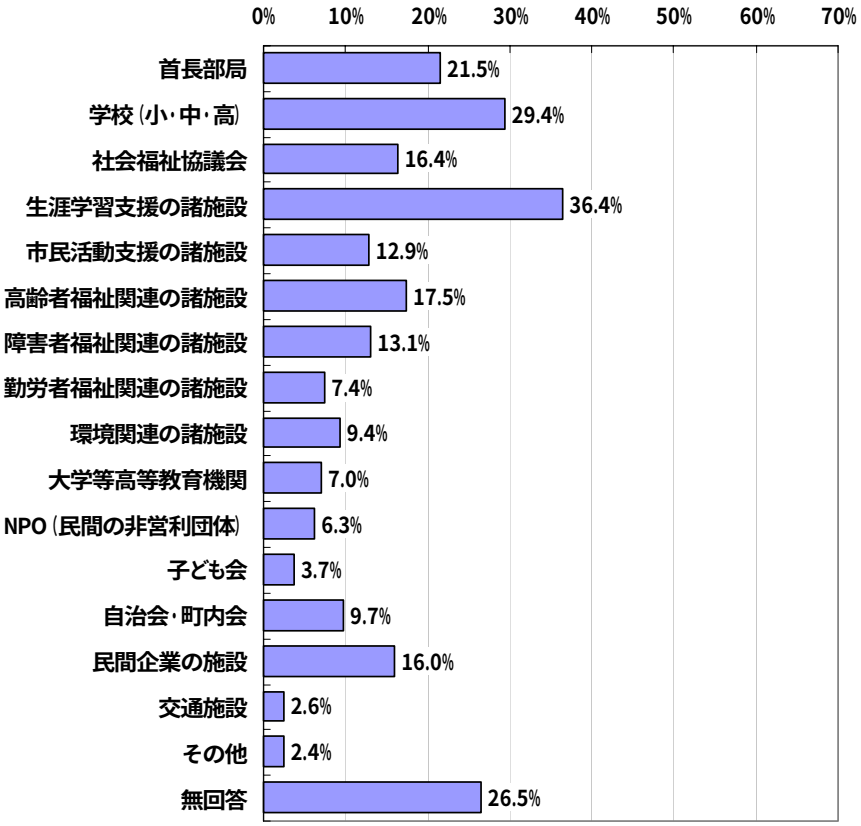
図表 3-１９　今後希望する連携先：事業企画



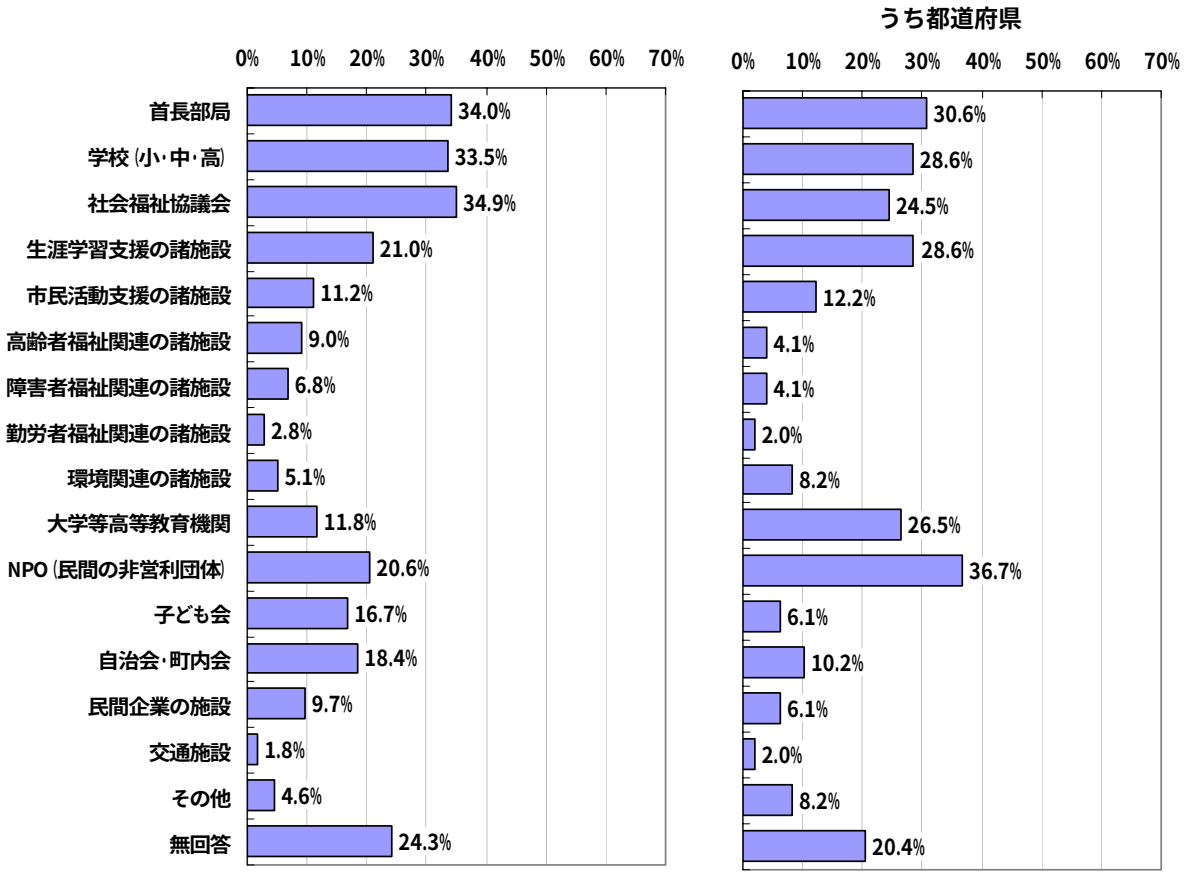
図表 3-20　今後希望する連携先：広報・PR



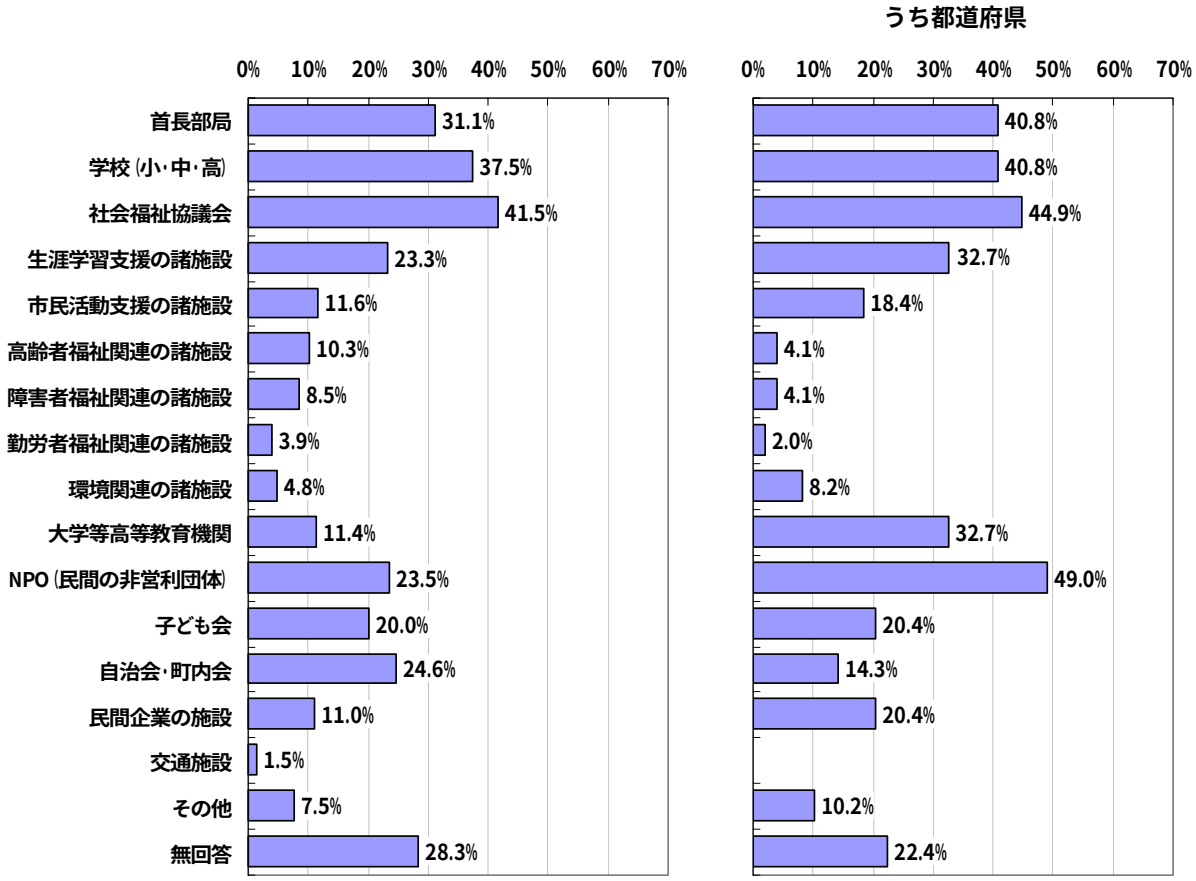
図表 3-21　今後希望する連携先：施設・設備



図表 3-22　今後希望する連携先：事業の共催・後援



図表 3-２３　今後希望する連携先：推進体制



図表 3-２４　今後連携によって実現したい事業（自由記述）

- 県内各市町村の生涯学習支援施設との連携事業；「出前情報センター」（移動図書館のようなもの）場所を提供していただき、さまざまな情報を、人を介して伝えてゆく。また、それぞれの地域の情報もいただく。「出前情報センター」に、賛同するボランティアのスキルアップのための体験活動も実施する（当センターに情報提供資料はあるのだが、来訪者が少なく、活用していただいていないため、逆発想をしてみた）。
- 民間企業（地場産業関連）との連携により、子ども達を対象として「（仮称）職人講座」を行ってみた。
- NPO、子ども会、自治会などと連携し、地域課題を自ら考え解決する「地域自治組織」（小学校区単位）を構築したい。
- 自治会・町内会と連携：子どもたちに地域のお祭りや季節行事への参加してもらうことにより、子どもたちの地域への愛着感、地域での役立ち感を高めてもらうとともに、地域の伝統文化の継承を促す事業。